

~1945

2009
第3回

2025
今年は...

2016
第5回
(大阪)

2008
第2回

2015
第4回

2007
第1回

語らずに死ねるか!

9月27日(土)

日本教育会館 一ツ橋ホール (神保町)
12:30開場

10年ぶり開催、
最終回!

第6回 あの戦場体験を 語り継ぐ集い

第1部 13:30~

証言集会

体験者15名(予定)
平均年齢95歳以上

第2部 16:00~

シンポジウム

語り継ぐためにできること
戦争をしてしまう人間にどう向き合うか

パネリスト

井上寿一氏

学習院大学
法学部(政治学科)教授

水島久光氏

東海大学文学部
広報メディア学科教授

入場無料
予約優先
[定員800名]
お申込みはこちら→



主催 戦場体験放映保存の会

体験者15名(予定)、平均年齢95歳以上による証言リレー

証言集会の後に、1階ギャラリーと3階ホワイエに交流スペースを設ける予定です

- ジャングルで飢餓。追い返した兵隊が、翌朝近くに死んでいた。側に家族写真があった。(100歳、ミンダナオ島)
- 食事の分配には目の色が変わる。人間の本性を見た。(100歳、シベリア抑留)
- 熊本城にこもって、爆雷を抱え戦車に飛び込む訓練を繰り返す。戦友が舌を噛み切ろうとする。(100歳、学徒出陣)
- マニラに向かった同期生73人は、バシー海峡で魚雷を受け、海に消えた。(99歳、少年飛行兵)
- グライダーを曳行して、敵飛行場に強制着陸させる部隊。出発は来ず生き延びた。(98歳、滑空飛行戦隊)
- 野戦病院の看護婦。死人の後片付けも泣かずにやれた。(98歳、パラオ高等女学校)
- 「俺もみんなと一緒に帰りたい」と言ったが誰も返事をしない。病人の世話役に残された。(96歳、満蒙開拓青少年義勇軍)
- 落石で閉じ込められた洞窟から助けてくれた人は、正気を失って隠れない。彼が死んで私が生きた。(94歳、テニアン島)
- 小さな鍋に、母と弟、妹たちのお骨を入れて燃やした。年子の姉、妹は見つからなかった。(94歳、東京大空襲)
- あの頃はみんな軍国少年だったけど、俺は音楽家になりたかった。セレナーデやマーチ。ラジオからドイツやイタリアの音楽なら流れる。(94歳、東京大空襲、仙台空襲)
- 吾妻橋を逃げようとしたが、橋の上で両方からの人が衝突して、熱いからぼんぼんぼんぼん飛び込んで。(91歳、東京大空襲・孤児)
- 人民日報に引揚げ船の乗船募集記事が出た。日本語のできる工場長はお別れ会をしてくれた。1953年、中国から弟と船に乗った。(88歳、母が八路軍の留用中に死亡)
- 弟は「飛行こわいねえ、水美味しいねえ」と言って3才で息を引き取った。(86歳、広島で被爆)
- 牧草、雑草、葉っぱはすべて食べつくした。現地夫人からもらった腸詰めが忘れられない。(86歳、引き揚げ)

第2部 シンポジウム

16:00開始、17:30終了予定

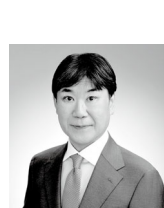
テーマ 語り継ぐためにできること

～戦争をしてしまう人間にどう向き合うか～

願わくば、後々の世代の皆さんが、老兵士達の体験談を記録する最後の機会にかけたこの運動の生の史料を、決して過去の遠い悲劇として捨て去るのではなく、名も無き人々が名も無く殺し合う時代を終わらしめんとために、この一館を活用されん事を。名も無き者の声の結集が動かす社会、永く続けるべき。

この電子史料館設立宣言の一節です。
あの未曾有の大戦から80年、日本に住まう我々は長い平和の時代を過ごしてきました。それはあの戦争を経験した世代の人々が、自分の子や孫には同じような思いをさせたくないと強く望んできたからこそです。
これから生きる我々は、戦争をしてしまう人間にどう向き合うべきでしょうか。先人の経験から何を学び、何を後世につないでいくのか、そのために何ができるのか、共に考えたいと思います。

パネリスト 井上寿一(いのうえ・としかず)氏



1956年生まれ。法学博士。学習院大学学長などを歴任。現在、学習院大学法学部教授。専攻は日本政治外交史。
主な著書に、『危機のなかの協調外交』(山川出版社、吉田茂賞)、『矢部貞治』(中公選書、政治研究櫻田會特別功労賞)、『日中戦争』(講談社学術文庫)、『戦争調査会』(講談社現代新書)、『新書昭和史』(講談社現代新書)など

水島久光(みずしま・ひさみつ)氏



1961年生まれ。広告会社、インターネット情報企業を経て2003年東海大学文学部広報メディア学科に着任。専門はメディア論、社会思想、情報記号論。
主な著書に『戦争をいかに語り継ぐか』(NHK出版)、『「新しい生活」とは何か』(書籍工房早山)などがある。

参加申込方法



入場無料・予約優先入場です。ぜひご登録ください!

- ① QRコードでウェブフォームを開き、必要事項をご記入ください
- ② FAX・メール・電話で下記の情報をご連絡ください

参加登録フォーム(FAX送信先:03-3916-2676)

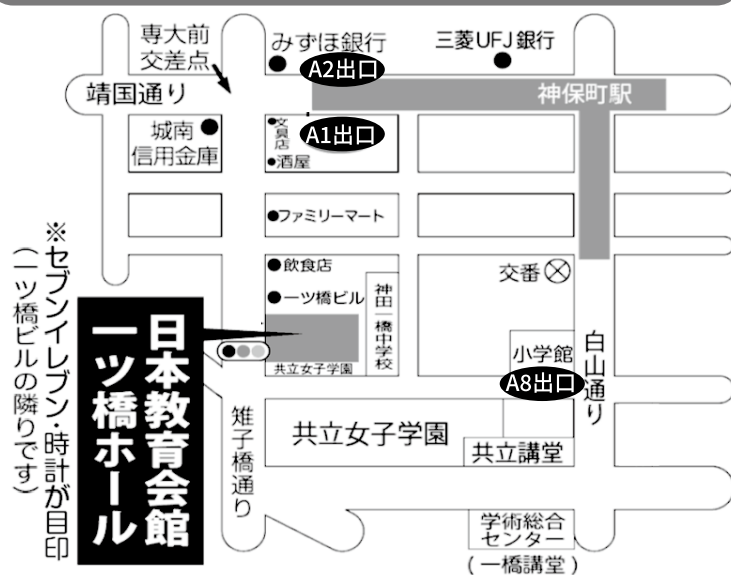
お名前	参加人数 ()人
ご住所(参加票送付先)	
もしよろしければ、宣伝にご協力ください。お送りします。	チラシ ()枚 ポスター[A3] ()枚

公益社団法人マスコミ世論研究所内

主催 戦場体験放映保存の会

〒114-0023 東京都北区滝野川6-82-2
TEL 03-3916-2664 (火木土日祝 10時~17時)
FAX 03-3916-2676
e-mail senjyou@notnet.jp
X(旧Twitter) @JvvpJP
戦場体験史料館HP <http://www.jvvp.jp>

一ツ橋ホール (東京都千代田区一ツ橋2-6-2)



- 地下鉄都営新宿線 東京メトロ半蔵門線 神保町駅(A1出口) 徒歩3分 ※A2出口に地上エレベーター有
- 地下鉄都営三田線 神保町駅(A8出口) 徒歩3分 ※地上エレベーター有
- 東京メトロ東西線 竹橋駅(北の丸公園側出口) 徒歩5分
- JR総武線 水道橋駅(西口出口) 徒歩15分